

Economic Indicators

発表日:2021年5月20日(木)

貿易統計(2021年4月)

～アジア向け輸出を牽引役に、輸出は増加基調を維持～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主任エコノミスト 小池 理人(Tel:03-5221-4573)

| | | 貿易収支(億円) | | | | 輸出数量 | | | | 輸入数量 | | | |
|-----|-----|----------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 原数値 | 季調値 | 輸出金額 | 輸入金額 | 前年比 | アメリカ | EU | アジア | 前年比 | アメリカ | EU | アジア |
| | | | | 前年比 | 前年比 | | 前年比 | 前年比 | 前年比 | | 前年比 | | |
| 20年 | 4月 | ▲ 9,369 | ▲ 9,821 | ▲ 21.9 | ▲ 7.0 | ▲ 21.3 | ▲ 36.9 | ▲ 27.6 | ▲ 11.8 | 1.7 | 4.1 | ▲ 0.2 | 6.0 |
| | 5月 | ▲ 8,568 | ▲ 8,496 | ▲ 28.3 | ▲ 25.9 | ▲ 27.2 | ▲ 49.4 | ▲ 34.8 | ▲ 11.4 | ▲ 14.4 | ▲ 22.8 | ▲ 25.9 | ▲ 8.5 |
| | 6月 | ▲ 2,909 | ▲ 5,952 | ▲ 26.2 | ▲ 14.1 | ▲ 26.9 | ▲ 47.0 | ▲ 33.2 | ▲ 17.7 | ▲ 0.6 | ▲ 12.6 | ▲ 6.2 | 0.4 |
| | 7月 | ▲ 148 | 139 | ▲ 19.2 | ▲ 22.0 | ▲ 21.9 | ▲ 21.5 | ▲ 36.9 | ▲ 11.3 | ▲ 13.8 | ▲ 28.0 | ▲ 12.6 | ▲ 10.6 |
| | 8月 | 2,280 | 2,423 | ▲ 14.8 | ▲ 20.4 | ▲ 14.8 | ▲ 20.1 | ▲ 27.5 | ▲ 7.3 | ▲ 11.3 | ▲ 22.3 | ▲ 15.1 | ▲ 7.2 |
| | 9月 | 6,674 | 5,624 | ▲ 4.9 | ▲ 17.1 | ▲ 7.7 | ▲ 6.1 | ▲ 23.3 | ▲ 3.7 | ▲ 8.1 | ▲ 16.5 | ▲ 3.3 | ▲ 7.4 |
| | 10月 | 8,582 | 5,790 | ▲ 0.2 | ▲ 13.1 | ▲ 1.6 | 0.8 | ▲ 10.9 | 2.8 | ▲ 5.5 | ▲ 21.4 | ▲ 8.3 | ▲ 2.4 |
| | 11月 | 3,558 | 6,477 | ▲ 4.2 | ▲ 11.0 | ▲ 3.9 | ▲ 2.6 | ▲ 9.8 | ▲ 4.5 | ▲ 2.1 | ▲ 19.3 | ▲ 12.9 | 4.6 |
| | 12月 | 7,447 | 7,704 | 2.0 | ▲ 11.5 | ▲ 0.1 | ▲ 3.4 | ▲ 18.4 | 5.2 | ▲ 2.0 | ▲ 22.7 | ▲ 0.9 | 2.0 |
| 21年 | 1月 | ▲ 3,272 | 6,092 | 6.4 | ▲ 9.5 | 5.3 | ▲ 8.7 | ▲ 26.1 | 18.4 | ▲ 4.1 | ▲ 10.6 | ▲ 10.9 | ▲ 2.8 |
| | 2月 | 2,159 | ▲ 110 | ▲ 4.5 | 11.8 | ▲ 4.3 | ▲ 16.4 | ▲ 23.9 | ▲ 0.3 | 22.0 | ▲ 8.0 | 1.7 | 43.8 |
| | 3月 | 6,637 | 2,978 | 16.1 | 5.7 | 12.6 | 3.9 | ▲ 6.9 | 20.4 | 3.9 | ▲ 0.8 | 9.1 | 8.5 |
| | 4月 | 2,553 | 652 | 38.0 | 12.8 | 28.4 | 37.8 | 12.7 | 23.0 | 2.4 | ▲ 4.9 | 5.7 | 4.5 |

(出所)財務省「貿易統計」、前年比(%)

○貿易収支(季節調整値)は、原油価格上昇などを背景に黒字幅を縮小

財務省より発表された4月の貿易統計によると、貿易収支は+2,553億円の黒字(コンセンサス: +1,439億円、レンジ: 0~+4,075億円)となり、コンセンサスを上回る結果となった。輸出金額は前年比+38.0%(コンセンサス: +31.4%、レンジ: +18.4%~+38.6%)、輸入金額は同+12.8%(コンセンサス: +9.1%、レンジ: ▲16.5%~+12.0%)と、コロナの影響により急激な落ち込みがみられた昨年の裏が生じたことで、前年比の伸び率は共に増加幅を大きく拡大した。季節調整値では、輸出金額が前月比+2.5%、輸入金額が同+7.5%となり、貿易収支は+652億円と前月から黒字幅が縮小した。原油価格の上昇等により輸入が大きく増加したが、自動車や半導体装置などを中心に輸出も増加したことで、季節調整値でも黒字を維持した。

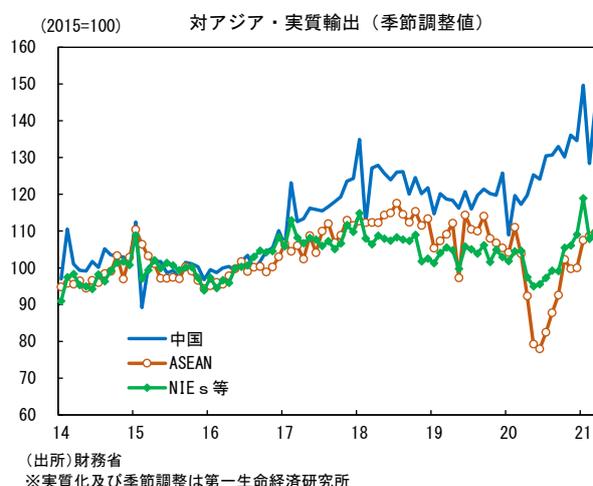
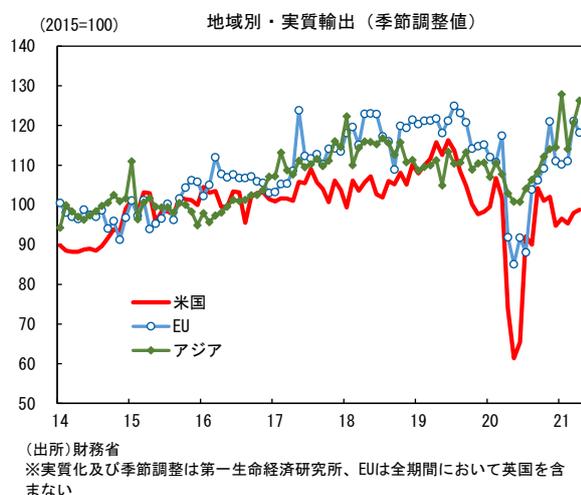
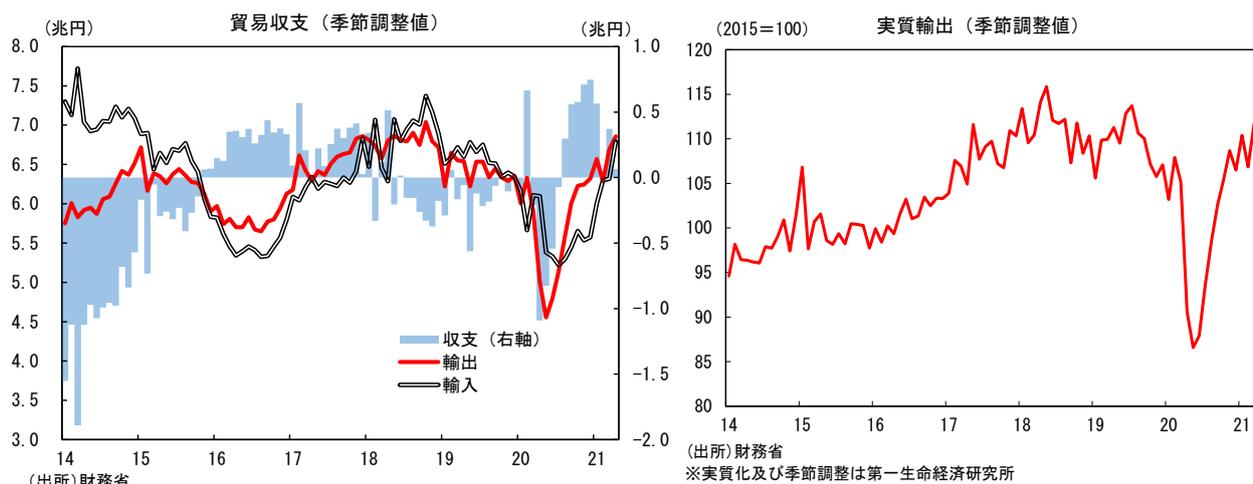
○実質輸出は前月比+3.7%

為替などの価格変動の影響を除いた4月の実質輸出は、前月比+3.7%(3月: 同+4.5%、実質化・季節調整は第一生命経済研究所試算)と増加が続いている。品目別にみると、一般機械が同+7.8%、電気機器が同+2.2%、輸送用機器が同+1.3%など、幅広い品目で増加がみられた。国、地域別にみると、米国向けが同+0.8%、アジア向けが同+4.7%と増加した一方で、EU向けが同▲2.4%と減少した。もっとも、EU向けの減少は先月の大幅増加の反動減によるもので、均してみれば回復基調が続いている。アジア向けは引き続き輸出増加の牽引役となっており、中でも一般機械(同+12.7%)や輸送用機器(同+6.1%)は大きく増加しており、中国以外のアジアの国々への輸出も好調である。



○輸出は増加基調を維持するも、そのペースは次第に緩やかに

先行きについて、輸出は増加基調が継続するとみている。1.9兆ドル規模の追加経済政策やワクチン接種の進展により一段の成長率加速が見込まれる米国を中心に、海外景気が回復することで、輸出は今後も堅調に推移することが見込まれる。もっとも、回復ペースについては、既に輸出がコロナ前の水準に戻していることや、半導体不足による制約などにより、これまでのペースからは幾分鈍化することになるだろう。輸入については、日本経済の正常化に伴い徐々に増加することを見込む。ただし、日本国内におけるワクチン接種のペースは海外と比較して遅れており、当面の間、内需の回復は頭を押さえられる形となり、輸入の伸びは緩やかなものとどまるだろう。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。